

令和 7 年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

調 査 結 果

1	調査の概要	1 ～ 2 ページ
2	体格・肥満に関する調査結果	3 ページ
3	実技に関する調査結果	4 ～ 5 ページ
4	質問紙調査の結果	6 ～ 1 1 ページ
5	総括	1 2 ～ 1 3 ページ

令和 8 年 2 月

羽幌町教育委員会

## 1. 調査の概要

### (1) 調査の目的

- 国が全国的な児童生徒の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、児童生徒の体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会が全国的な状況を踏まえ、児童生徒の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取り組みを通じて児童生徒の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### (2) 調査の対象

【小学校調査】 小学校第5学年 実施児童数 29名

【中学校調査】 中学校第2学年 実施生徒数 42名

### (3) 調査の方法

悉皆調査

### (4) 調査の実施期間

令和7年4月から令和7年7月末までの期間

### (5) 調査内容

#### ①児童生徒に対する調査

##### ア. 実技に関する調査

##### 【小学校】

8種目：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

##### 【中学校】

8種目：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン・持久走（男子1500m、女子1000m）、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※ 中学校では、20mシャトルラン、持久走のいずれかを選択して実施

##### イ. 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関するもの

小学校：17項目

中学校：17項目

②学校・教育委員会に対する質問紙調査

子どもの体力向上や運動習慣の確立に向けた学校の取組等に関するもの

小学校：18 項目

中学校：17 項目

※「教育委員会に対する質問紙調査」は、この結果報告に含めない。

(6) 実施校

小学校 3 校（羽幌小学校、天売小学校、焼尻小学校）

中学校 3 校（羽幌中学校、天売中学校、焼尻中学校）

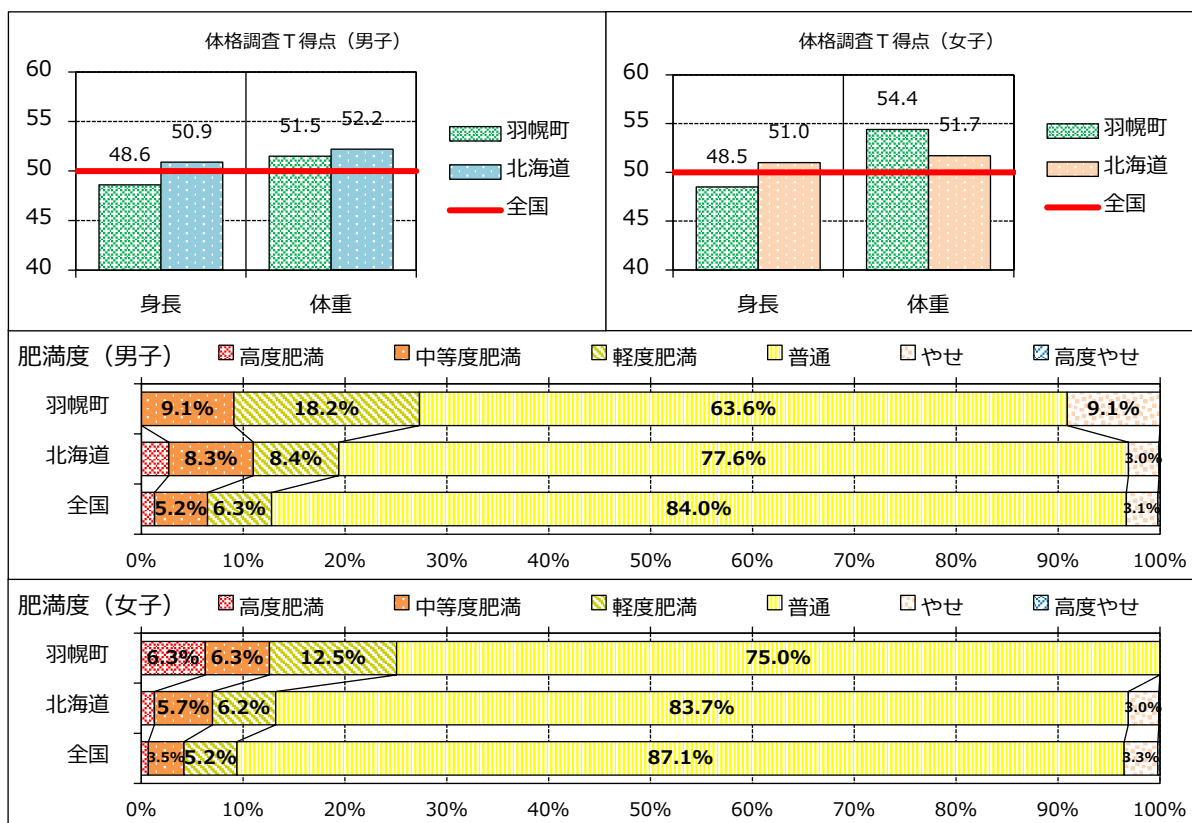
※天売小・中学校、焼尻小学校は、調査対象学年に在籍する児童生徒が不在のため学校質問紙調査のみ実施

【用語説明】

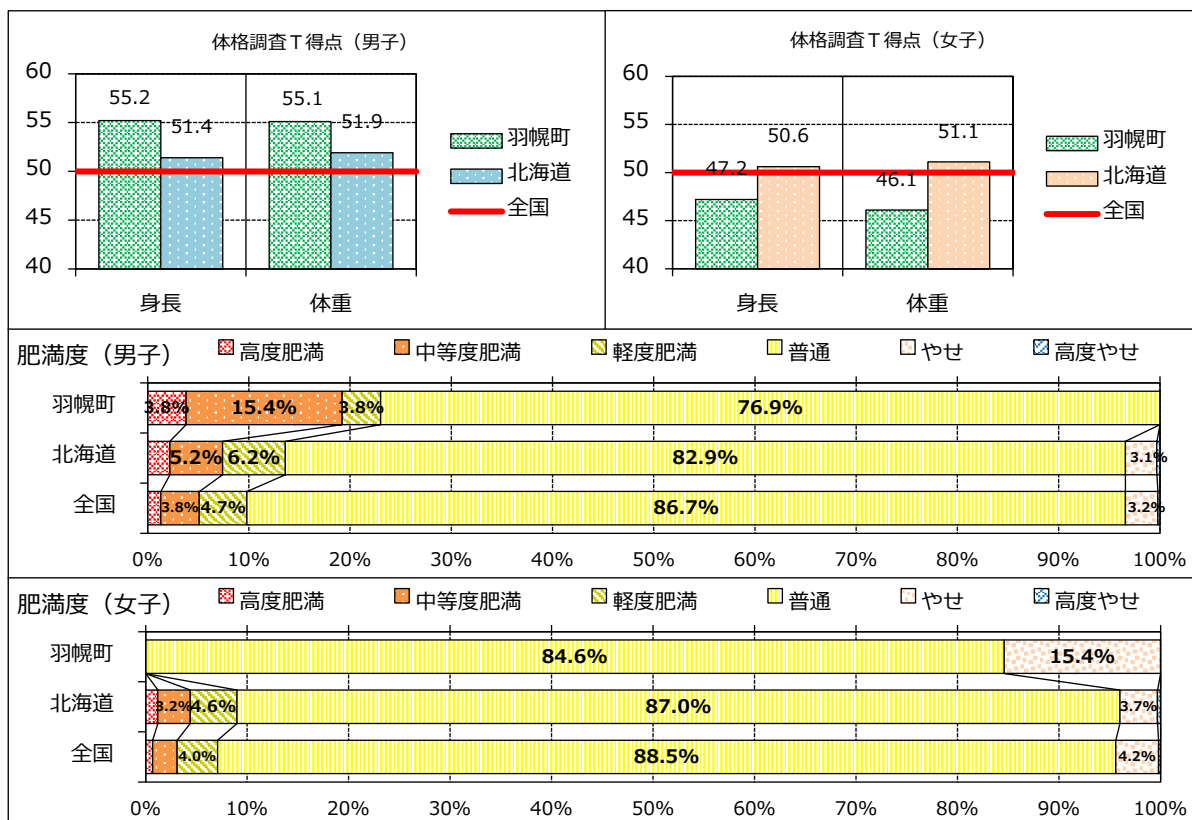
用語	解説					
体力合計点	種目によって単位が異なる測定値を、単位が共通な 10 点満点の「ものさし（尺度）」に変換し、8 種目の結果を合計した得点(80 点満点)					
T 得点	全国平均値に対する(相対的位置全国平均を 50 としたときの数値)を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較できる。					
総合評価	体力合計点の高い順に A～E の 5 段階で評価 〈総合評価基準表〉					
	段階	A	B	C	D	E
	小学校 5 年生	65 以上	58～64	50～57	42～49	41 以下
	中学校 2 年生	57 以上	47～56	37～46	27～36	26 以下

## 2. 体格・肥満に関する調査結果

### (1) 体格・肥満に関する小学校調査の結果



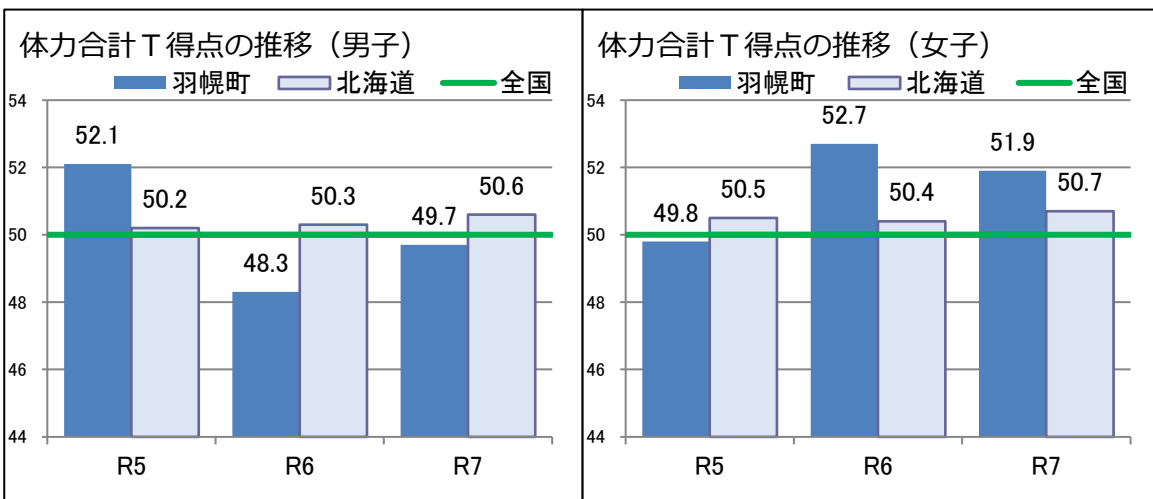
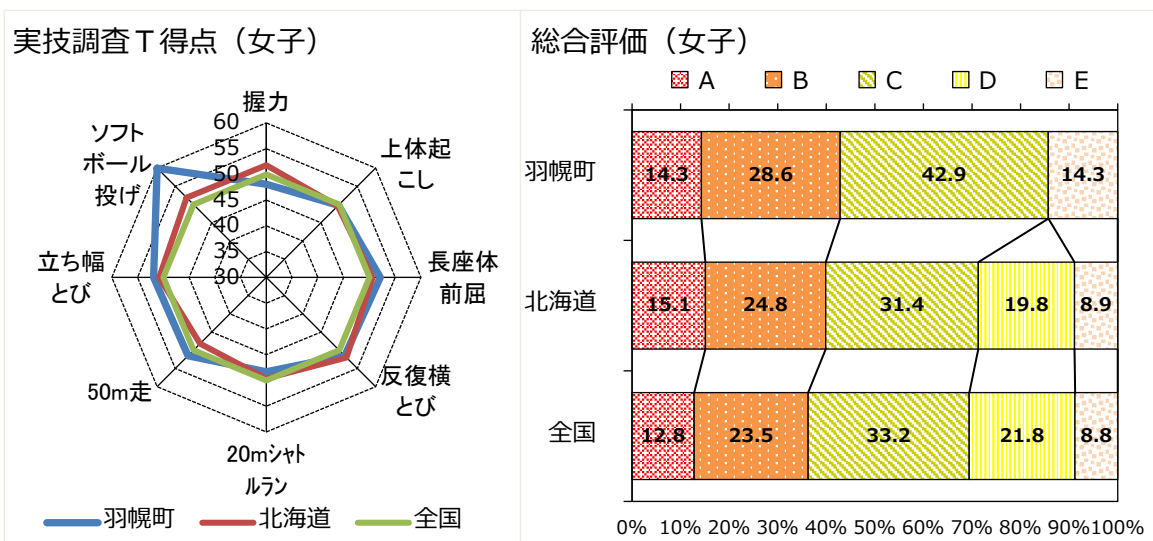
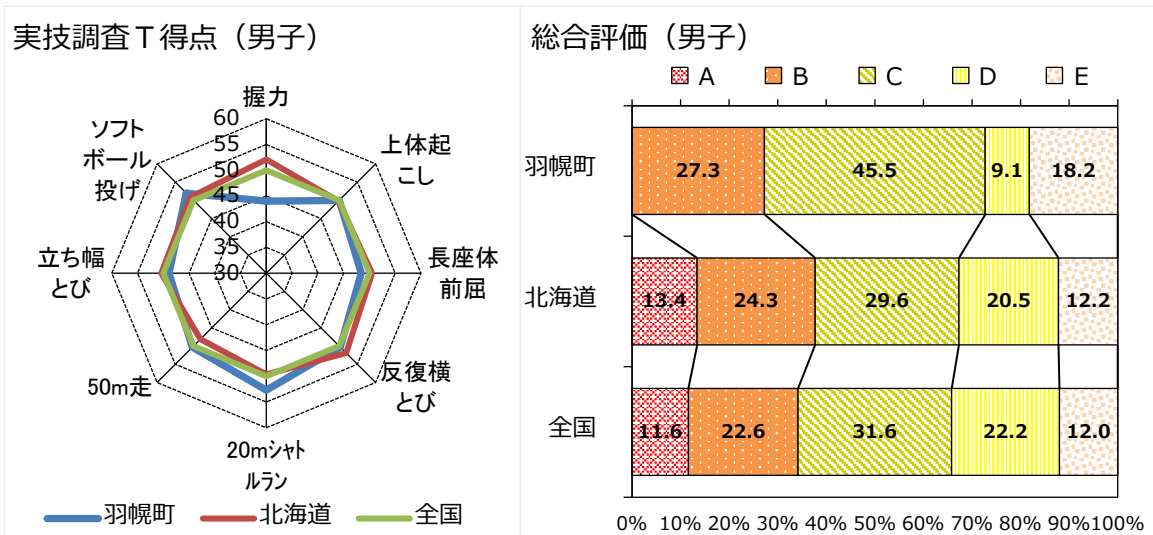
### (2) 体格・肥満に関する中学校調査の結果



### 3. 実技に関する調査結果

#### (1) 実技に関する小学校調査の結果

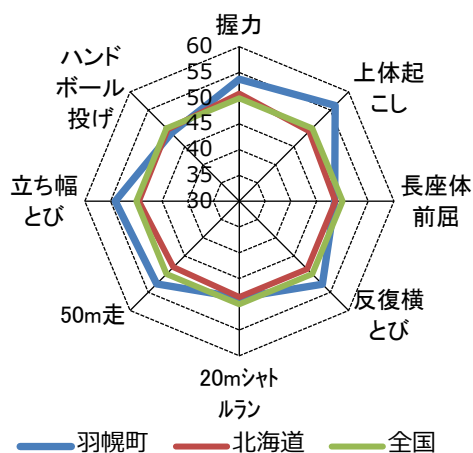
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げの8種目を実施



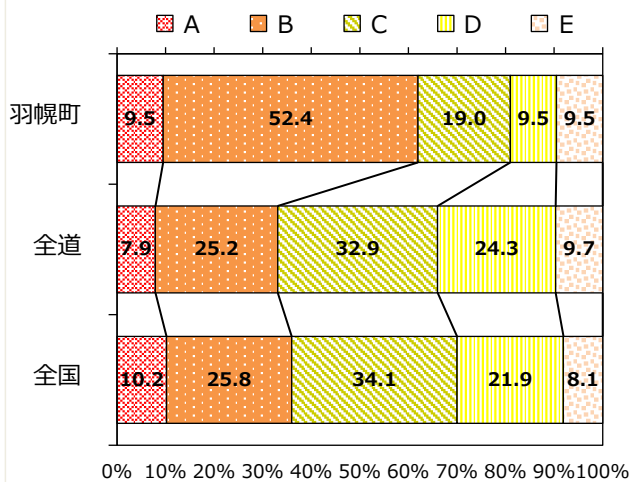
(2) 実技に関する中学校調査の結果

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げの8種目を実施

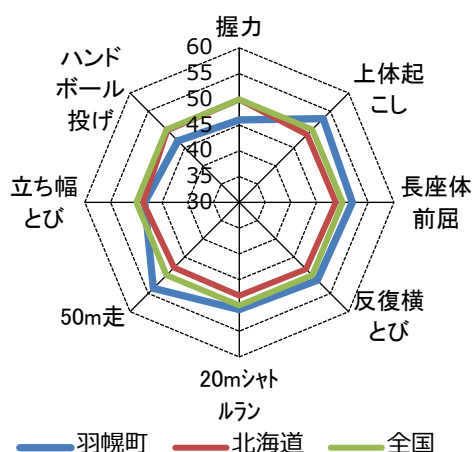
実技調査T得点（男子）



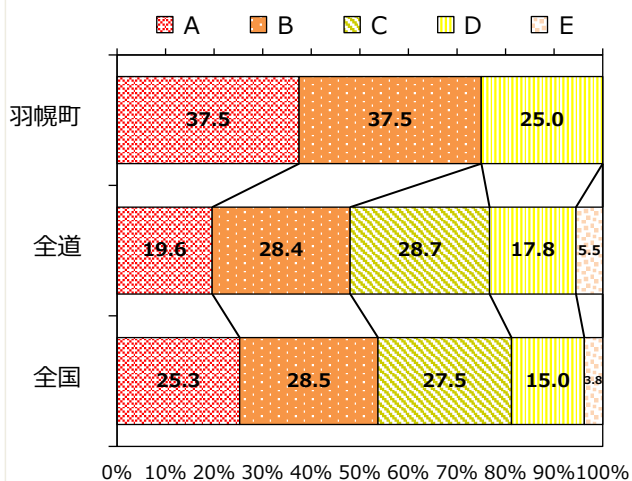
総合評価（男子）



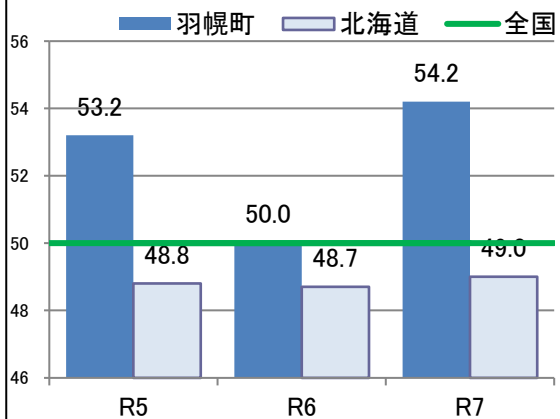
実技調査T得点（女子）



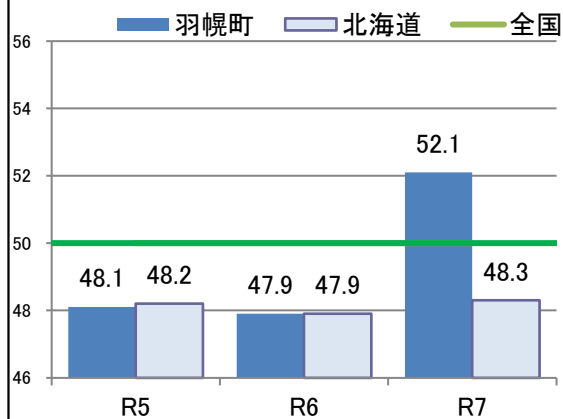
総合評価（女子）



体力合計T得点の推移（男子）



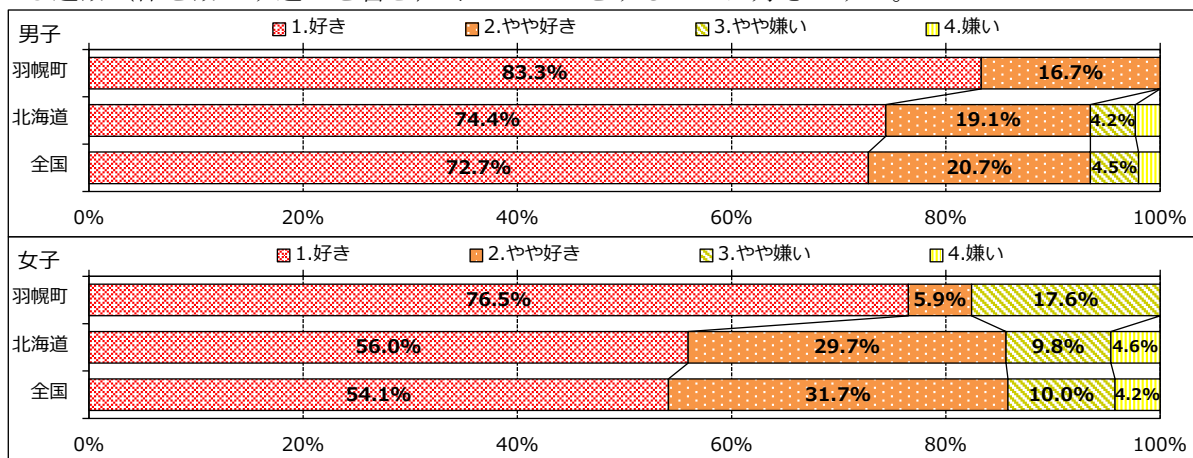
体力合計T得点の推移（女子）



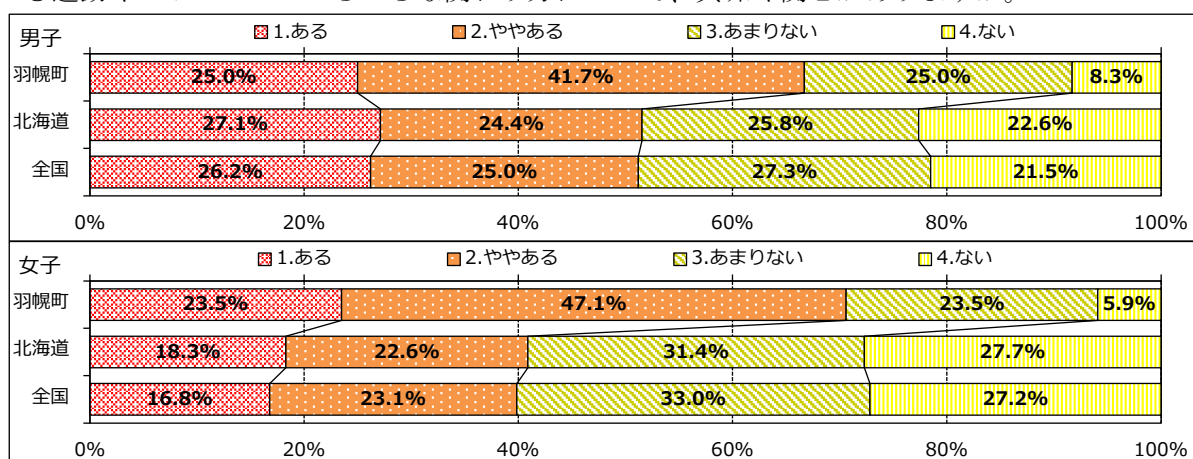
#### 4. 質問紙調査の結果

##### (1) 児童に対する質問紙調査の結果【主な回答内容と全国・全道との比較】

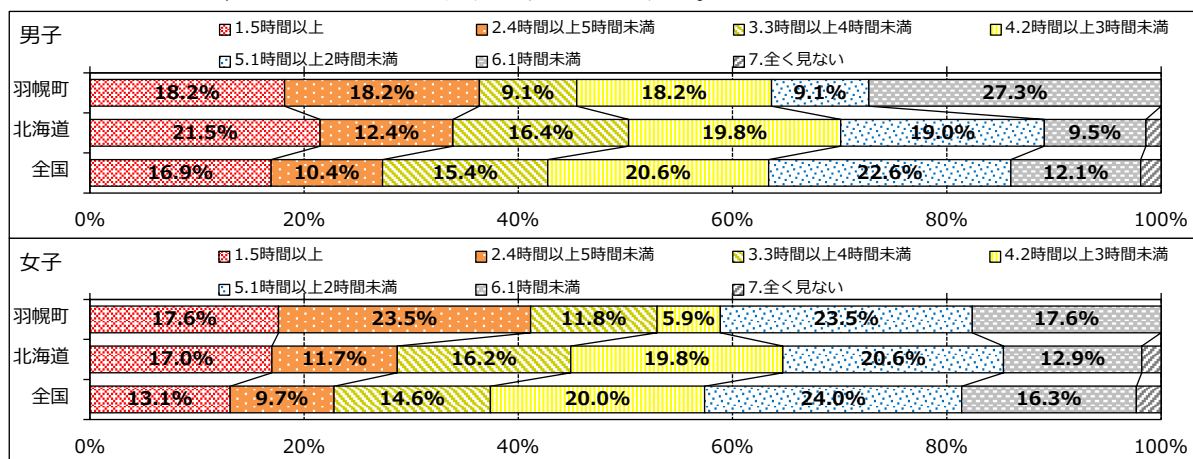
○運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。



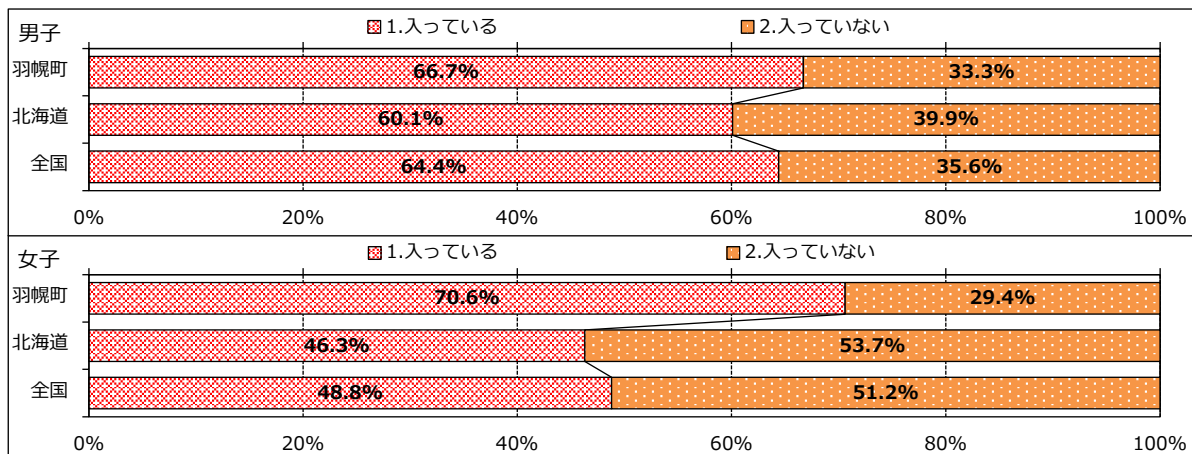
○運動やスポーツへのいろいろな関わり方について、興味や関心がありますか。



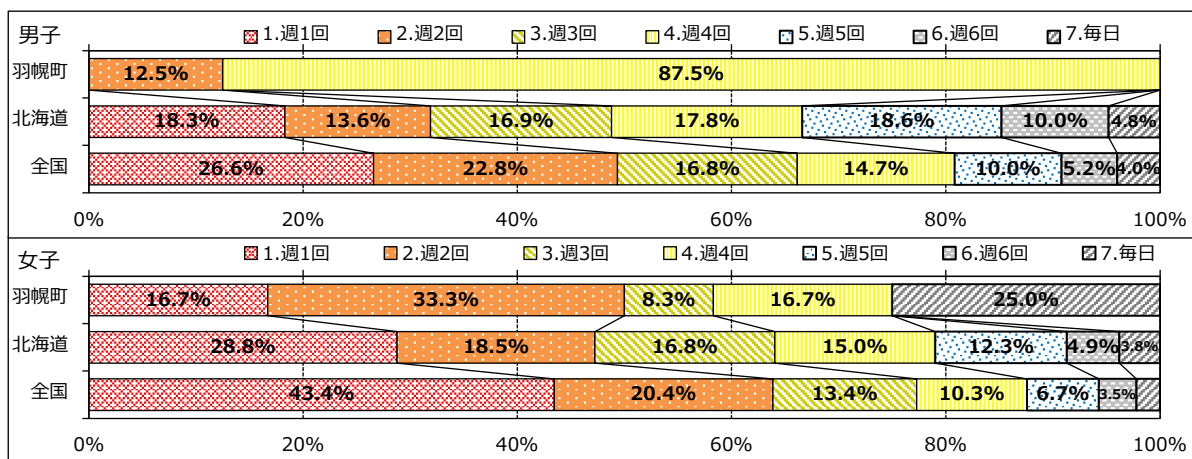
○平日（月～金曜日）に学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



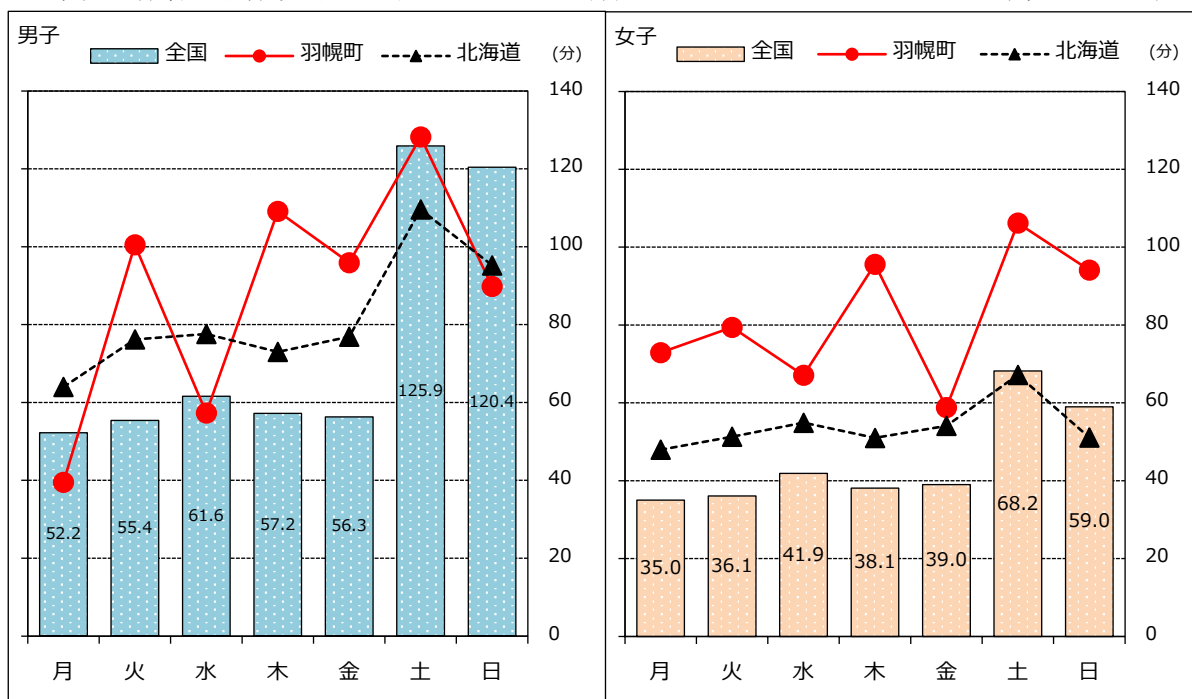
○地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や習い事を含む）に入っていますか。



○地域のスポーツクラブでの活動回数は、どれぐらいですか。



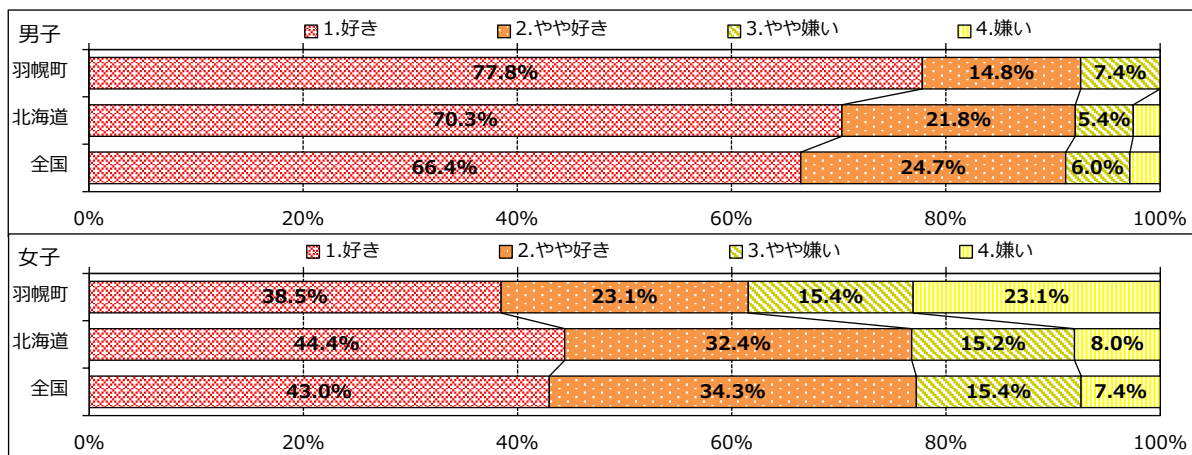
○学校の体育の授業以外で運動やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。



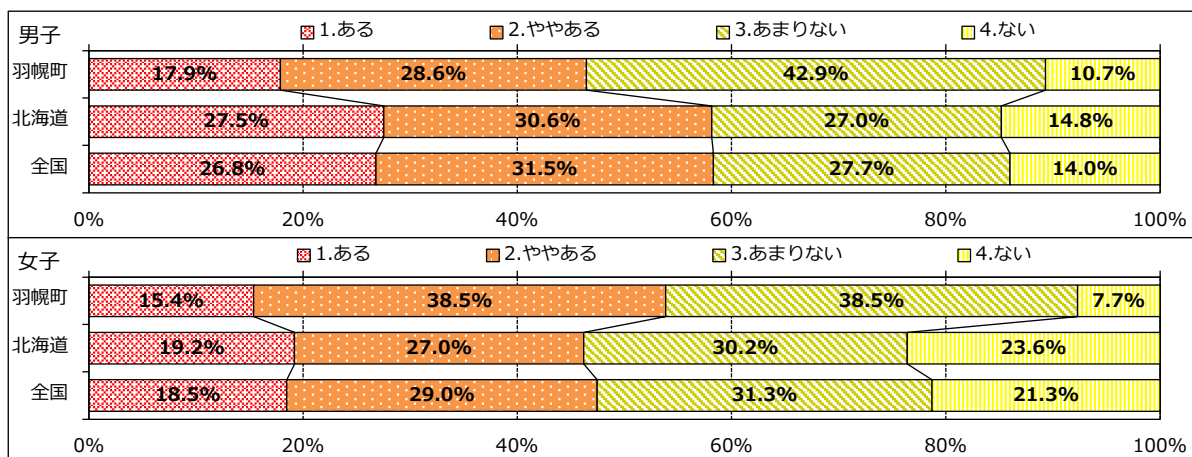


(2) 生徒に対する質問紙調査の結果【主な回答内容と全国・全道との比較】

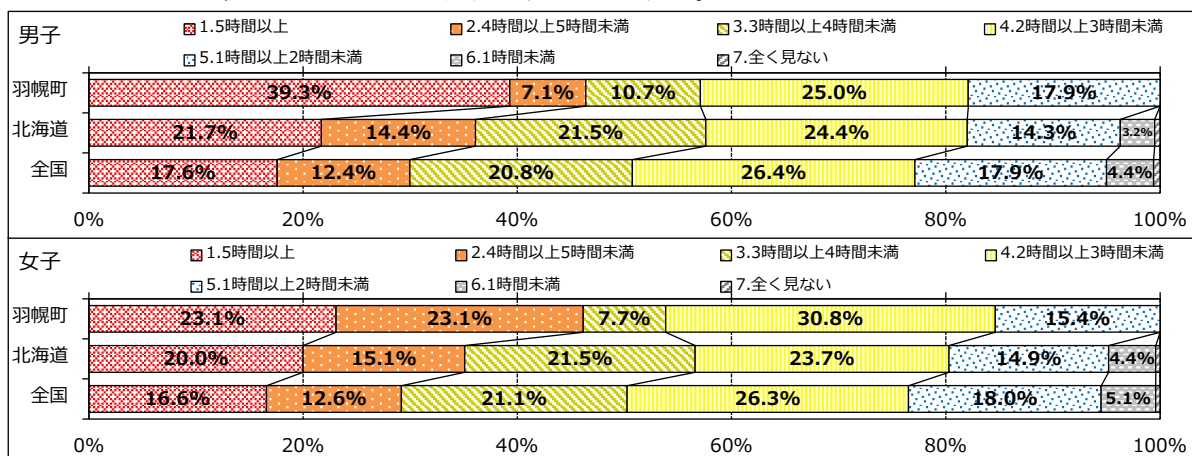
○運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。



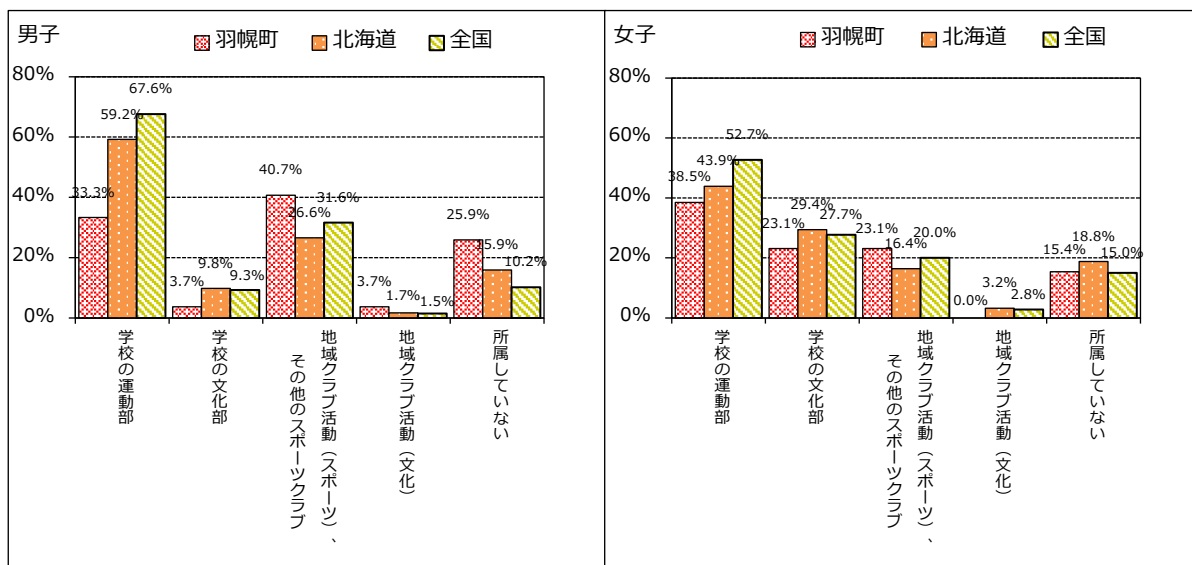
○運動やスポーツへのいろいろな関わり方について、興味や関心がありますか。



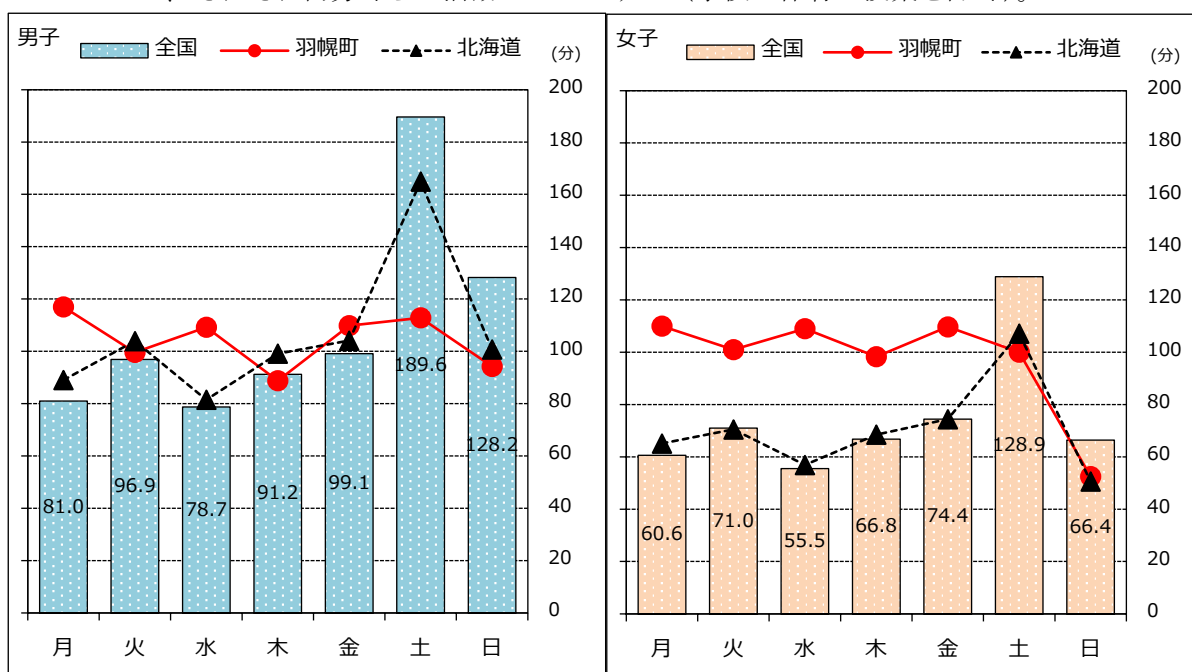
○平日（月～金曜日）に学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



○学校の部活動や地域のクラブ活動に所属していますか。

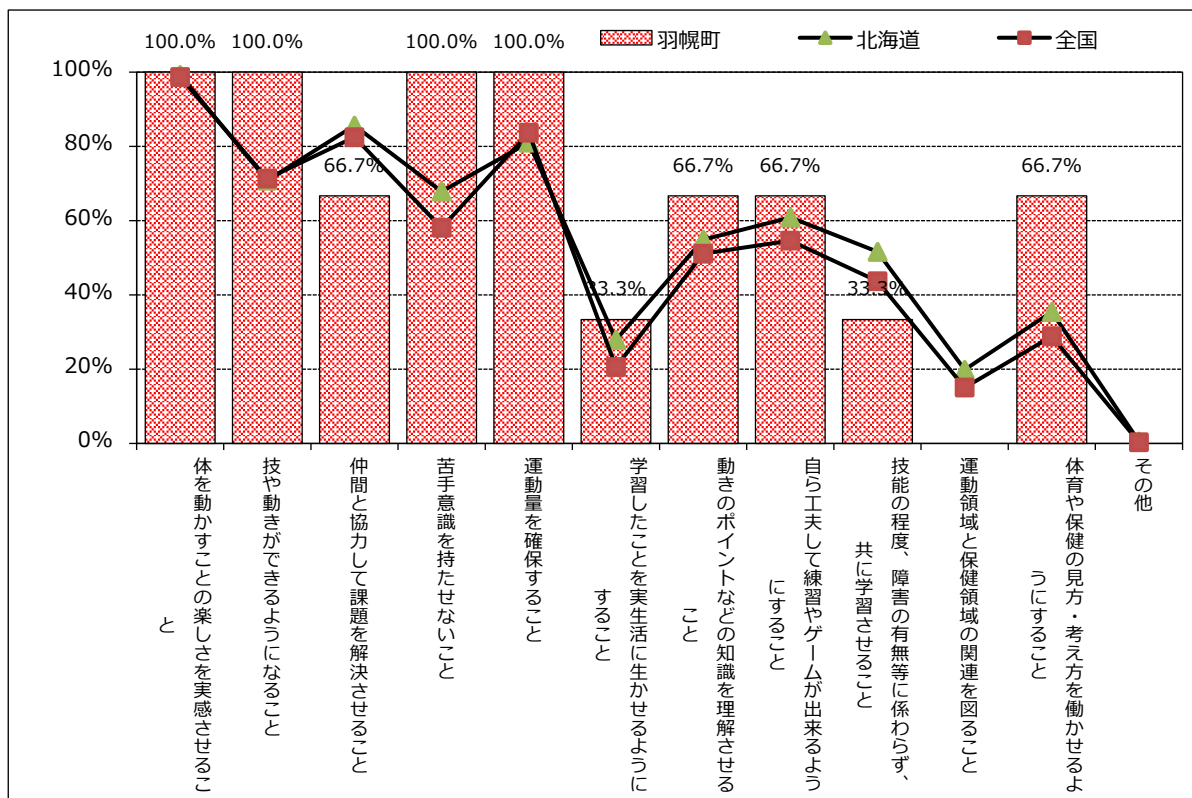


○学校の運動部や地域のクラブ活動（スポーツ）、その他のスポーツクラブ、それ以外の運動やスポーツ、それぞれ何分ぐらい活動していますか（学校の体育の授業を除く）。

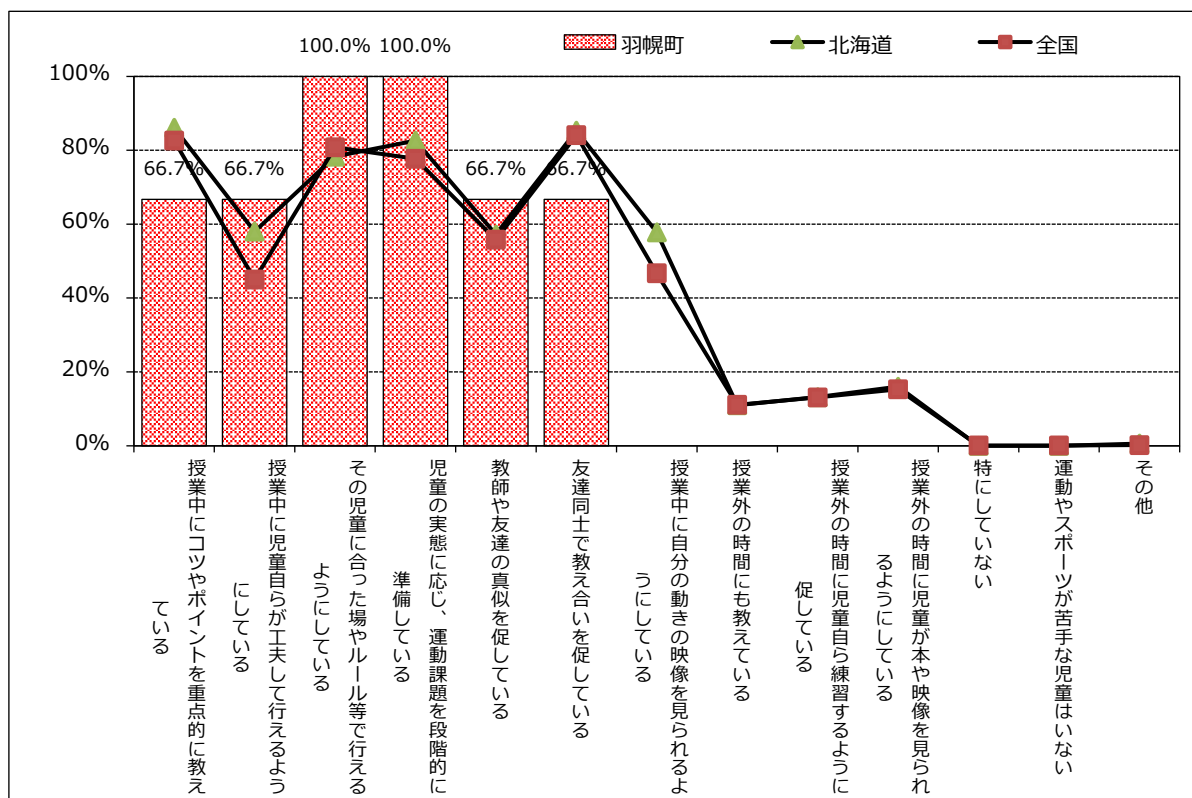


(2) 小学校に対する質問紙調査の結果【主な回答と全国・全道との比較】

○体育の授業で大切にしていること

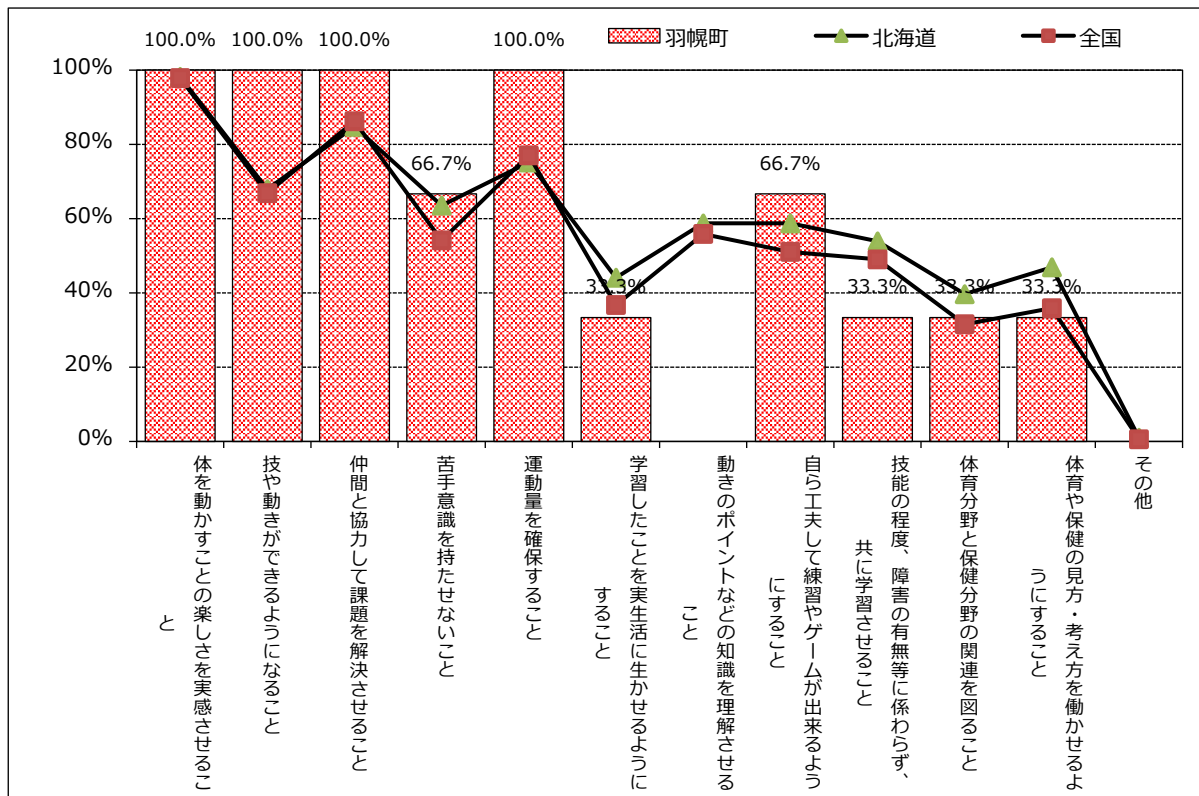


○体育の授業で、運動やスポーツが苦手な児童がいる場合の取組

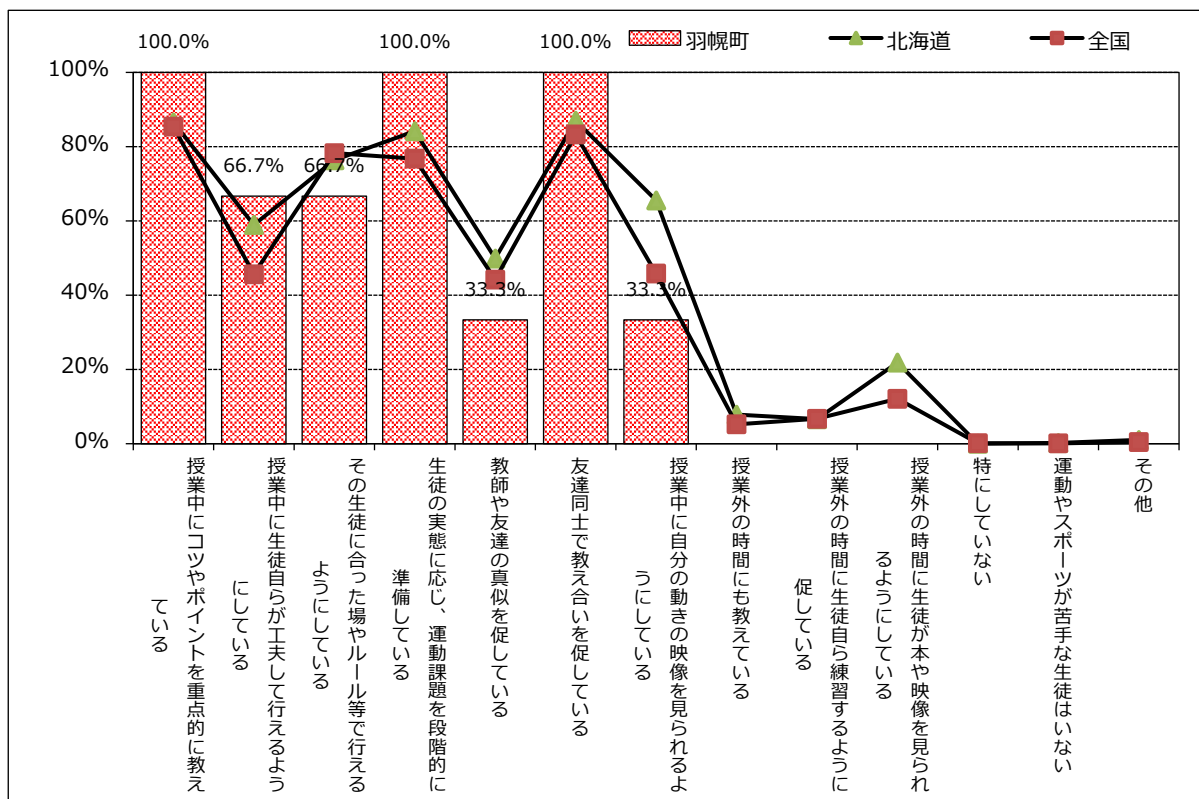


(3) 中学校に対する質問紙調査の結果【主な回答と全国・全道との比較】

○保健体育の授業で大切にしていること



○体育の授業で、運動やスポーツが苦手な生徒がいる場合の取組



## 5. 総括

### <小学校5学年男子>

体格については、身長が全道・全国を下回っているが、体重は全国を上回っている。肥満度については、「肥満」と分類される児童の割合が全国と比べ約2倍である一方で「やせ」と分類される児童の割合は全国と比べ約3倍となったことから、児童間で比較的体格に差が生じていることが明らかとなった。

実技については、「20mシャトルラン」、「50m走」、「ソフトボール投げ」の3種目で全道・全国を上回る結果となったが、その他の種目は全道・全国に比べ同程度または下回っている状況であり、特に「握力」で大きく差が生じている。総合評価については「A」と分類された児童が皆無であり、体力合計点についても全道・全国を下回った。

質問紙調査については、運動に対する意識は、全国・全道を上回っており、「体育の授業以外の運動やスポーツの時間」についても曜日ごとに異なるが、全体的に比較するとやや高い水準で推移していることから、今後の活動次第で数値の改善が図られる事を期待したい。

### <小学校5学年女子>

体格については、身長が全道・全国を下回っているが、体重は全道・全国を上回っている。肥満度については、「肥満」と分類される児童の割合が全国と比べ約2.5倍である一方で「やせ」と分類される児童が皆無であったことから、全体的に「肥満」傾向が強いと言える。

実技については、「長座体前屈」、「50m走」、「立ち幅とび」、「ソフトボール投げ」の4種目で全道・全国を上回る結果となっており、特に「ソフトボール投げ」では全道・全国を大幅に上回る数値を記録した。その他の種目についても全道・全国と同程度であることから全体的に好成績だったと言える。総合評価についても「C」以上と分類された児童が約85%であり、体力合計点についても全道・全国を上回った。

質問紙調査については、運動に対する意識が全国・全道に比べ高い水準に位置していることに加え、地域のスポーツクラブに7割以上の児童が所属しており、「体育の授業以外の運動やスポーツの時間」についてもすべての曜日で全道・全国を上回ったことから、日常的に運動する機会が多いことが調査の好成績につながったと考える。

### <中学校2学年男子>

体格については、身長・体重の両方で全道・全国を上回っている。肥満度については、「肥満」と分類される生徒の割合が全国と比べ約2倍である一方で「やせ」と分類される生徒が皆無であったことから、全体的に「肥満」傾向が強いと言える。

実技については、「握力」、「上体起こし」、「反復横とび」、「50m走」、「立ち幅とび」の5種目で全道・全国を上回る結果となっており、特に「上体起こし」と「立ち幅とび」では全道・全国に比べ高い数値を記録した。その他の種目についても全道・全国と比較的差がなく同程度であったことから全体的に好成績だったと言える。総合評価についても「B」と分類された生徒が約50%であったことに加え、「C」以上と分類された生徒が約80%であり、体力合計点についても全道・全国を高い数値で上回った。

質問紙調査については、運動やスポーツをすることが好きと回答した生徒の割合が全道・全国を上回り、平日に運動やスポーツをする時間（体育の授業を除く）が全道・全国を上回る曜日が存在する一方で、土日に運動やスポーツをする時間が全道・全国を下回っているほか、運動に対する興味や関心が全国・全道に比べやや低い水準に位置しており、平日にテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を5時間以上見ている割合が約40%となり全道・全国の約2倍となった。また、学校の部活動や地域のクラブ活動に所属していないと回答した生徒が全国の約2.5倍となる25.9%となったことから、調査が好成績だった反面、日常的に運動不足である生徒の割合も多いことが判明した。

#### <中学校2学年女子>

体格については、身長・体重の両方で全道・全国を下回っている。肥満度については、「肥満」と分類される生徒が皆無である一方で「やせ」と分類される生徒の割合が全国の約3.5倍となる15.4%となったことから、全体的に「やせ」傾向が強いと言える。

実技については、「握力」と「ハンドボール投げ」で全道・全国の数値をやや下回ったが、「上体起こし」、「長座体前屈」、「反復横とび」、「20mシャトルラン」、「50m走」の5種目で全道・全国を上回る結果となった。総合評価についても「A」と「B」に分類された生徒が75%であり、体力合計点についても全道・全国を上回った。

質問紙調査については、運動やスポーツをすることが好きと回答した生徒の割合と土日に運動やスポーツをする時間が全道・全国を下回っているが、運動に対する興味や関心が全道・全国を上回っているほか、平日に運動やスポーツをする時間（体育の授業を除く）が全道・全国に比べ高い水準で上回っていることから、日ごろから運動を行う生徒が多く、調査の好成績につながったと考える。

#### <まとめ>

以上のことから、学校に対する質問紙調査の結果からも読み取れるように、体育授業での心掛け、運動やスポーツが苦手な児童生徒に対する取組を学校で実施した結果、小学校5年生女子、中学校2年生男女で体力合計点が全国を上回ったと考える。しかし、小学校5年生男子については体力合計点が全道・全国を下回ったほか、「肥満」と分類される児童生徒の割合が調査対象学年で多いことから、学校だけでなく家庭等においても運動や食事に対する取組方法の工夫が必要であると考えられる。

今後の体力向上に向け、体育や保健に関する指導の充実や運動習慣の定着に向けた取組の推進、姉妹都市文化スポーツ交流事業等の遊びや社会体験活動の実施、各種スポーツ教室事業等の生涯にわたりスポーツに接する機会の拡充を行い、学校・家庭・地域が連携した取組を継続して行っていく必要がある。